

## 平成26年度 言語文化生涯学習講座

# ことばを問う—古典から現代の表現まで—

平成18年度に開始した言語文化生涯学習講座は今年で9回目となります。今回は「ことばを問う—古典から現代の表現まで—」というテーマで開催します。

グローバル化が急速に進む中、今年も新たな気持ちで、言語と文化に迫っていきたいと思います。どうぞ奮ってご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。

回	日時	タイトル	講師
1	3月2日(月) 18:00~19:30	古典作品を読む—プラトン『メノン』	おおくさ てるまさ 大草 輝政
2	3月3日(火) 18:00~19:30	英語圏の新聞—コマ漫画を通じて 2014年を振り返ろう	R.スチュワート
3	3月4日(水) 18:00~19:30	英語の単語や短文を発音してみよう	かたやま たまみ 片山 圭巳
4	3月5日(木) 18:00~19:30	学び直しのための英語音読法	うまもと つとむ 馬本 勉

開催日時：平成27年 3月2日(月)・3月3日(火)・3月4日(水)・3月5日(木)  
いずれも 18:00~19:30 (90分間)

会場：県立広島大学 庄原キャンパス CALL 教室 (2号館5階 2502講義室)

対象：言語と文化に興味をお持ちの一般の方

定員：各回とも30名(申し込み先着順)

受講料：無料

申込方法：次の(1)~(4)を明記の上、平成27年2月26日(木)までに、はがき、ファックス、電子メールのいずれかで、県立広島大学庄原地域連携センターまでお申し込みください。

- (1) 名前(フリガナ) (2) 住所 (3) 電話番号
- (4) 受講希望回(※4日間の講座のうち、ご希望の回のみ受講可)

申込・問合せ先：〒727-0023 庄原市七塚町562 県立広島大学庄原地域連携センター  
ファックス：0824-74-1704  
電子メール：[gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp](mailto:gakujutu@pu-hiroshima.ac.jp)

## ◆各講座の内容◆

### 第1日) 大草 輝政 古典作品を読む——プラトン『メノン』

本講座では、プラトン著『メノン』の冒頭部分を味わってみたいと思います。この作品はメノンという青年の唐突な問いで始まります。「〔人間の〕徳(=優秀さ、卓越性)は、教えられるものですか、訓練で身につくものですか。それとも素質とか、あるいは……」。これに対するソクラテスの応答は次のようなものです。「私は、徳が何であるかすら知らない」。その後、実に生き生きとした対話が繰り広げられます。

### 第2日) R. スチュワート 英語圏の新聞—コマ漫画を通じて 2014年を振り返ろう

現在どの国にも、文字と絵の組み合わせでできている情報は、ネット上だけではなくあらゆる出版物にますます増えています。その中に絵を理解できないと全体の意味が伝わらない場合も多くあります。つまり、文字と絵の組み合わせた情報に対するリテラシーが必要になった時代に入ったと言えるでしょう。もちろん、言語と同じように、文化圏および国によって使われた絵(文化的流行・シンボル・比喩・見立て・視覚化された語呂合わせ)が異なります。この講座では、2014年の主なニュースを振り返りながら、アメリカやイギリスで人気のある文字と絵からなった表現である新聞—コマ漫画を読み、比較文化的な見方で、英語圏の文化の言葉だけでは見つけられない相違点を一緒に発見しましょう。

### 第3日) 片山 圭巳 英語の単語や短文を発音してみよう

本講座では、昨年度の「発音記号を読む」講座に引き続き、もっと大きなレベル(複合語や短文)での発音を紹介していきます。英語初級レベルの方対象ですので、英語をもう一度始めようという方も歓迎いたします。また、日本語と英語の音声を言語学的に比較し、理論的に理解することにより、母語の音声システムについても認識することができます。アクティビティ形式で行いたいと思いますので、英語で発信するよい機会です。

### 第4日) 馬本 勉 学び直しのための英語音読法

いちど習った英語を「学び直す」方法として、「音読」に注目したいと思います。かつての音読ブームは日本語から英語にも広がりを見せましたが、もっともっと音読が日常的なものになればと思います。昨年、多くの人が「シリゴー！」と口にしたように。

本講座では、明治期以降の英語音読の歴史を振り返るとともに、様々な現代的な音読法を実践します。まず、声に出して英語を読むことを楽しみましょう。それを通じて英文の理解を深め、自己表現力を高め、学び直しに結び付けることができればと思います。